

令和4年度東淀川区区政会議 安全・安心・まちづくり部会 意見と回答

(R5.2.22)

議題：経営課題1・4・5

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	担当課
1	地活協補助金の事務簡素化について、コピーの手間などを省いてほしい。	現在、市民局を中心に各区実務担当者をメンバーとしたワーキンググループを立ち上げ、地活協補助金の事務簡素化に向け検討を行っているところです。書類提出の際のデジタル化や、コピーの提出省略等についても、検討内容に含まれており、令和5年度中には、大阪市として統一した方針と、区独自の方針をお示しできると考えております。	地域
2	地活協と町会の違いが判らない人がまだ多くいる。広報活動を更に。	配布ビラやくらしの便利帳等、様々な広報媒体を活用しながら、町会の重要性を知っていただくとともに、地活協の仕組みや活動を分かりやすく発信できるよう、取組を進めております。引き続き、区ホームページ、SNS等も活用しつつ、工夫を重ねながら認知度向上に努めてまいります。	地域 総合企画
3	子どもに参加してもらおう子ども目線に立った取組みを充実してもらいたい。	各地域において、おまつり等の子どもを対象とした事業も自主的に行っているところです。引き続き、区役所として地域と連携しながら、個別の相談や事業実施に向けたアドバイス等の支援を継続して行ってまいります。	地域
4	淀川区が作成した各地域の活動紹介のYouTubeがおもしろかったので、東淀川区でも取り入れてみては。	淀川区（まちづくりセンター）が発信しているYouTube動画も参考にさせていただきながら、東淀川区役所としても、地活協をはじめとした各地域の活動紹介を様々な形で発信できればと考えております。	地域 総合企画
5	各地域でのまちづくりの取組みの共有会をより頻繁に開催してほしい。	毎年、東淀川区まちづくりフォーラムとして、区内の取組事例を中心に、区外の事例も含めた情報の共有と、今後のまちづくりについて考え、持続可能な地域活動に向けて参考としていただくための共有会を開催させていただいております。 また、区役所ホームページからも「まちづくりお役立ち情報」ページを設け、各地域の取組みや、区役所からの情報を随時発信しておりますので、ぜひお役立てください。	地域
6	区内2大学との連携を地域に対して働きかけしてもらいたい。	区内に2大学が立地しているのは東淀川区の大きな強みの一つです。 新型コロナウイルス感染症が収束しつつあることも踏まえ、引き続き地域と大学の橋渡しができるよう取り組んでまいります。	総合企画
7	ひがよどワールドマラソンを区役所が後援しているのはとてもよい。	地域の振興を図るとともに、区民の親睦につながることから、区役所も後援して“ひがよどワールドマラソン”が開催されました。引き続き、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現に向けて、地域における取組に対して支援を行ってまいります。	地域
8	運営方針に人権の項目がない。	人権については、区全ての事業に関わる事項であり、区総体として取り組むものです。運営方針への記載について、大阪市の正式様式には「区の使命」のひとつとして記載していましたので、区の独自様式にも追記します。	地域 総合企画
9	西部地域まちづくりアクションプランについて、もっと地域住民に将来のまちが見える形の取組をしてほしい。	将来のまちの姿をイメージしながらアクションプランづくりの議論が進むよう、お知らせの手法を含め検討してまいります。	企画調整

議題：経営課題1・4・5

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	担当課
10	もと西淡路小学校の活用がどこまで進んでいるのか。	令和4年度は、民間事業者・地元住民へのアンケート調査及び建物調査等、活用案策定の検討に必要な基礎調査を行いました。 引き続き、調査結果等を参考に、地域の皆様と一緒に、活用手法及び活用条件を整理し、活用案を検討していきたいと考えております。	地域
11	地域別の防災訓練の重要性について、各地域の認識の温度差を作らないための働きかけをしてほしい。	区役所といたしましても、地域防災リーダー隊長連絡会（区内全地域の隊長が出席）や各地域で開催される防災学習会等での説明、当区ホームページを活用した情報発信（各地域で行われた訓練の紹介など）などを通じて、引き続き、地域主体の避難所開設・運営訓練等が実施されるよう支援してまいります。	安全まちづくり
12	防災訓練（学習会）の予算はどんなことに使っているのか。	防災訓練（学習会）に関する予算につきましては、例年、訓練用の物品類や事務用品の購入経費、防災マップの印刷経費、地域防災リーダーに対するボランティア保険料などとして執行しています。	安全まちづくり
13	子どもをメインにすることで若い世代・PTAと一緒に防災訓練を行う。	昨今のコロナ禍により、各地域では、地域防災リーダーをはじめ町会役員の方々で行われる避難所開設・運営訓練を中心に実施されています。 委員のご指摘につきましては、各地域の訓練に若い世代やPTAの皆様が参加しやすい取組となるよう実施される地域団体に周知等を行うとともに、各地域で実施された訓練を紹介するページを区ホームページに掲載するなどして、引き続き情報発信に努めてまいります。	安全まちづくり
14	避難所開設・運営時に必要となる様々な視点（ペット、こども、外国人など）を理解することで、避難所開設・運営がスムーズになるのではないかと。	委員ご指摘のとおり、区役所といたしましても、今後、各地域で行われる避難所開設・運営訓練や防災学習会で様々な視点を踏まえた内容で実施することにより、理解の促進がされるよう努めてまいります。	安全まちづくり
15	防災訓練の習熟段階を踏まえたプログラム化はあるか	この間、各地域では避難所開設・運営訓練を中心に、各地域の実情に応じて実施されており、特段、プログラム化されたものはありません。一方で、災害時避難所の開設や運営は、各地域の自主防災組織の皆様のご協力が不可欠となりますので、繰り返し訓練を行い、知識や技術の習熟度も高めることが重要であると考えます。	安全まちづくり
16	避難施設のカギ問題が必ず出てくる（誰がカギを持っているのか地域住民が把握しておくほうがよい）	災害時避難所である小学校等の校門の鍵、備蓄物資を保管している倉庫の鍵等は、当区と区内各地域で覚書を交わすことにより、地域の責任者である方々に鍵の管理を委託しております。なお、委員のご指摘につきましては、各地域の実情に応じて適切に対応されるよう周知に努めてまいります。	安全まちづくり
17	個別避難計画策定推進サポーターは防災や福祉関係の人も入れるのか。何人くらい予定しているのか。	「地域別保健福祉計画・個別避難計画策定推進サポーター」は、地域住民及び関係機関との連携を支援することで、地域住民による地域における災害時にも活かせる見守りネットワークの構築を推進するとともに、各計画の策定機運の醸成を支援することで、地域の課題を地域で解決する地域力の構築を推進する事を目的として設置します。したがって、地域住民と区役所、関係機関のつなぎ役となれるようなスキルを持った人物を想定しており、区役所が公募により直接会計年度任用職員として令和5年度に1名任用し、保健福祉課に勤務します。	安全まちづくり 保健福祉
18	個別避難計画や地域別保健福祉計画の進捗を定期的に知らせしてほしい。	個別避難計画の作成の進捗につきましては、今年度から着手したところであり、区の広報紙による啓発や各種団体への説明等を行っているところです。今後、個別避難計画や地域別保健福祉計画の進捗状況につきましては、地域連絡会議等各	安全まちづくり 保健福祉

議題：経営課題1・4・5

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	担当課
19	個別避難計画はどのくらいすすんでいるか？	種会議や区政会議等で適宜共有させていただきます。	防災係
20	区政会議に警察の人も呼んで防犯の取組みを考えたい。	当部会での防犯の学習会等、区政会議では必要に応じて東淀川警察署に出席を依頼することは可能です。	安全まちづくり
21	青パトだけでなく、防災スピーカーを用いた子ども向けの防犯啓発を夕方にできないか。	防災行政無線（防災スピーカー）は、防災情報を区民や市民の皆さんに周知することを目的に設置されたシステムで、防災訓練での使用や設備の維持管理のための試験放送などを放送しております。委員ご指摘のような内容を放送している区があるということは存じておりますが、当区においては、生活環境に影響を及ぼす恐れがあることなどから、必要に応じて放送をしております。	安全まちづくり
22	自転車事故が多いので、自転車運転に関して厳しいトーンで啓発してほしい。	自転車利用ルール・マナー向上については、法改正に伴うヘルメット着用等の周知も含めて、地域や警察、企業と連携して、区広報誌、HP、SNSも活用しながら、効果的な啓発に努めてまいります。	安全まちづくり
23	自転車の法改正の内容が行きわたっていない。ヘルメット着用など自転車販売時の呼びかけの工夫を促進してほしい。		
24	地活協と区政会議委員の間で情報交換や共有ができるように区役所からも後押ししてほしい。	従来から地活協推薦の委員の皆様には、ご自身の地域で区政会議に関する議論をお願いしているところです。また、区政会議資料は毎回各地協会長にも提供しています。その他、委員の皆様からのご要望に応じて対応を検討します。	総合企画
25	予算案と具体的取組の金額が一致していない	予算案は区の事業に関する予算額全てを記載しています。 一方で運営方針は区の事業のうち主要な取組みの予算額（関係局予算のものはその予算額）を記載しているため、金額が一致していない箇所があります。	総合企画
26	広報紙の発行部数等の検討を。SNS活用にたよるだけでよいのか。	区役所からの広報にあたっては、デジタルアナログを問わず広報媒体をフル活用します。 広報紙の発行部数を単に増やすことは行いませんが、ひとり暮らしの若者を含めた、それまで広報紙を読んでいない方でも日常生活の中で手に取っていただけるよう配架場所の新規開拓に引き続き取り組み、その1回の機会から個別配送の依頼につながるよう、魅力的な紙面づくりを行ってまいります。 単身マンションへの掲示については、単身マンションに居住している若者が重点的な広報ターゲットとなる事業を行う際には検討します。	総合企画
27	ひとり暮らしの若者などに行政からの情報が行き届きにくい。単身マンションなどに行政からのお知らせを掲示して周知をすすめられないか。目に入るだけでも。		

議題：経営課題1・4・5

【当日出された意見等】

	意見内容	回答	担当課
28	広報紙を配架している場所を知りたい。	区役所HPでお知らせしていますのでご確認をお願いします。 https://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/page/0000464998.html	総合企画
29	マイナンバーカードの申請について、わざわざ区役所に行って作るの面倒である。何かの手続きのため区役所に来ている人に、ついでに申請するよう宣伝しては。	マイナンバーカードの申請方法には申請時来庁方式と交付時来庁方式があります。マイナンバーカードを交付するためには、申請時又は交付時のどちらかで対面によりご本人確認をさせていただくことが定められています。 東淀川区役所では交付時来庁方式を採用しています。区役所窓口では申請できず、申請書の郵送等によりご自身で申請していただけます。そのため、申請のために区役所へお越しいただく必要はありませんが、完成したマイナンバーカードを交付する際にはご本人確認のため区役所へお越しいただく必要があります。 従いまして、ご意見にあった他の要件で区役所に来られている方に申請をご案内し、申請に至った場合であっても、交付の際には再度区役所へお越しいただく必要があります。 なお、現在市内各所で実施している出張申請窓口（令和5年3月末終了）は申請時来庁方式にあたります。この窓口に来ていただいて申請していただくと、職員がその場で本人確認を行い、マイナンバーカードを住民登録地にお送りするため、この場合は区役所にお越しいただく必要はありません。	住民情報
30	待合でお待ちの来庁者への宣伝や、転入者へ広報紙を配付してはどうか。	待合でお待ちの来庁者へ宣伝しては、というご意見については、多くの来庁者がおられるため、お一人ずつへのお声がけは難しいですが、待合において動画の放映や、パンフレットの設置を行っています。 転入者への広報紙の配付については、広報紙をはじめ、暮らしの便利帳や防災マップなどを『転入者パック』として転入された方にお渡ししています。	住民情報
31	職員の意識向上について、区を良くしたいのは当然である。研修内容は。	新たに東淀川区役所職員になった職員（新規採用者、異動による転入者）を対象に接遇研修を行います。また、東淀川区の歴史や良いところを知り、好きになっていこうと日頃から上司が部下に伝え、「区のために尽力する」という組織目標を明確にして上司と部下で思いを共有しながら尽力してまいります。	総務
32	区役所の表玄関等にスロープも必要ではないか。	車いすでの来庁者を含めて、誰もが困難なく庁舎に訪れることができるように点検をし、直すべきところは改善してまいります。	総務
33	区役所駐車場入口の道路混雑の解決を。	近隣住民の道路の通行を妨げることがないように、駐車場入り口付近に駐停車禁止の看板を設置し、ひどい時には職員が注意をしています。また、来庁の目的以外で長時間駐車場に駐車をしている場合に注意をしていますが、引き続き近隣住民に迷惑をかけないように働きかけてまいります。	総務